

# あ お も り 町村 自治

2019 **1** No.1221

平成31年

年4回発行

編集・発行 青森県町村会

〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号 TEL. 017-723-1331 FAX. 017-723-1347

HP <http://www.aomori-chousonkai.jp/>

新年のごあいさつ	2
全国町村長大会	4
北東北三県町村長中央研修会	6
まちづくりへの挑戦 蓬田村	10
いまが旬!	12
随想 富岡風間浦村長	16



## ふのり 布海苔採り体験ツアー

かざまうらむら  
風間浦村

風間浦村の冬の風物詩「布海苔採り体験ツアー」は、毎年2月～3月にかけて開催されます。津軽海峡の荒波に育まれた布海苔は、この時期が旬です。採ったものは全て持ち帰ることができ、みそ汁にしてもよし、天ぷらにしてもよし、歯ごたえもあり磯の香りも楽しめます。体験後は、冷えた体を下風呂温泉で温め、新鮮な海の幸を食べることができます。風間浦村の魅力を一気に満喫できる大人気のツアーです。



# 新春にあたり

青森県町村会長 関 和典

新年あけましておめでとうございます。

町村長をはじめ関係各位におかれましては、新春をお健やかに迎えのこ  
とと心からお慶び申し上げますととも  
に、日頃の本会に対する御理解と御協  
力に厚く御礼申し上げます。

現在、わが国で進行する急速な少子  
高齢化や人口減少、労働力不足など急  
激な環境変化や頻発する自然災害等に  
よる防災・減災対策に対応するため、  
われわれ町村は、自主的・自立的に地  
域特性や資源を活かした様々な施策を  
展開し、豊かで安心・安全な住民生活  
と個性溢れる多様な地域づくりに邁進  
していかなければなりません。

こうした中、本会は、これまで町村  
が直面している喫緊の課題に対応する  
ため、要請活動等を通し、町村の声を  
訴えて参りました。

昨年六月には、本会と県、県市長会  
の合同により、県選出国会議員に対し、  
地方創生の推進や地方財政基盤の充

実・強化などの重点施策を説明し、町  
村の安定的な財政運営に必要な一般財  
源総額を確保するための地方財政対策  
に関する要望を行い、自由民主党並び  
に関係省庁に対し重点施策の要請活動  
を実施しました。市町村長会議では本  
会から県に対し、町村の課題等を提言  
したほか、十月には原子力施設立地振  
興対策事業助成金の継続を要望するな  
ど、適時適切な要請活動等を実施して  
きたところであります。

また、陸路、海路、空路の交通網を  
組み合わせた立体観光の推進や、町村  
が持つ豊かな自然、文化、歴史、特産  
品等多彩な魅力の活用による交流人口、  
観光客の増大等を図るため、本会では  
町村が実施する事業に対し、県市町村  
振興協会の支援を得て、町村の魅力発  
信事業への助成を継続して実施して参  
りました。

加えて、首都圏に向けた広域的な情  
報発信として、県内三十町村の食や魅  
力を掲載したタブロイド紙「青森30町

あけましておめでとうございます

青森県町村会

会 長 関 和 典

副 会 長 浜 谷 豊 美

同 吉 田 満

理 事 久 慈 修 一

同 成 田 誠

同 山 田 年 伸

同 中 谷 純 逸

同 金 澤 満 春

同 三 浦 正 名



村まるごと特集」を制作し首都圏で配布したほか、東京・神楽坂の北のプレミアムフード館において九月二十九日から十二月十六日までの七十九日間にわたり、「青森まち・むらまるっと！うまいものフェア」を開催し、各町村の特産品を展示・販売いたしました。今後も引き続き本県町村の振興発展に寄与するものとなるよう事業等に取り組んで参ります。

さて、町村が様々な施策を着実に実施していくためには、何よりも地方の自主財源を拡充し、町村の財政基盤を強化することが不可欠であります。

平成三十一年度政府予算案における地方財政対策では、一般財源総額は前年度を上回る六十二兆七千億円が確保され、地方交付税総額は七年ぶりに増加となる対前年度比千七百億円増の十六兆千八百億円となりました。財政力の弱い町村にとって、地方交付税は生命線ともいえるべき極めて重要な財源でありますので、国に対しては今後、地方交付税総額をはじめとする一般財源総額を確実に確保することなどを強く求めて参ります。

また、人口減少の克服と地域の活性化に向け、地方創生をより一層推進していく必要がありますので、我々町村長が地域の最前線で懸命に取り組みとともに、国に対し積極的な支援を求めて参ります。

農山漁村に人々が暮らし続けること

によって、国土や景観、文化や風土などが維持され、都市と農山漁村が共生する社会を創造することは、持続可能な活力ある地域を維持するためにも重要であります。

このようなことから、グローバル化の進展に対応し、農林漁業と農山漁村がともに繁栄するため、安全・安心で優れた本県の農林水産品の販路拡大を図り、農林漁業者が将来にわたり意欲と希望を持って経営に取り組めるよう、農林水産業の振興対策を訴えるとともに、安心して暮らせる地域のためにも、地域医療の充実・子育て支援及び防災・減災対策等も強く求めて参ります。また、交流人口拡大や地域経済の活性化に向け自然や地域特性を活かした観光振興施策についても積極的に展開して参ります。

今後とも本会は、町村の活力あふれる地域社会と輝かしい未来の実現に向け、町村長相互の連携を一層強固なものとし、直面する困難な課題に積極果敢に取り組みとともに、県をはじめ全国町村会、関係機関と連携し、山積する諸課題の解決に向けて全力を尽くして活動を展開して参る所存でありますので、引き続き皆様方の御支援と御協力をお願い申し上げます。

町村長をはじめ関係各位の益々の御健勝と御活躍、また地域社会の発展を心から祈念いたします。新年の御挨拶といたします。

## 謹んで新春のお慶びを申し上げます

監事 野坂 充

同 船橋 茂久

同 樋口 秀視

常務理事兼事務局長

小笠原 靖介

ほか 職員一同

青森県市町村総合事務組合

管理者 関 和典

青森県広報広聴協議会

会長 関 和典

全国山村過疎地域振興連盟

青森県支部 支部長 山田 年伸

青森県支部 支部長 関 和典

青森県支部 支部長 関 和典

# 地 方 創 生 の 推 進 を 訴 える

全国町村長大会



全国町村会は十一月二十八日、東京都のNHKホールで全国町村長大会を開催し、県内町村長をはじめ、全国の町村長など約千三百人が出席した。

大会では、荒木全国町村会長（熊本県嘉島町長）があいさつし、「我が国全体が人口減少社会に突入し、この最重要課題に国・地方をあげて長期にわたり真正面から取り組まなければならない。私たち町村長も、地方創生を日本の創生につなげていくという強い覚悟をもって、日々懸命に取り組んでいる。町村長相互の連携を一層強固なものとし、直面する課題、将来にわたる困難な課題に積極果敢に取り組んでいこう。」と訴えた。

この後、安倍晋三内閣総理大臣や大島理森衆議院議長などの来賓あいさつに続き、町村への応援メッセージとして、東京大学名誉教授の大森彌氏が、参加した町村長等を激励した。

その後、議事に入り、町村行財政をめぐる諸問題解決に向けた十二項目の決議案が満場一致で決定された。さらに、三十五項目の大会要望も一括採択された。

一、道州制の導入しないこと。  
一、領土・外交問題・国民の安全保障に毅然とした姿勢で臨むこと。

一、参議院の合区を早急に解消すること。  
一、森林環境税関連法案を確実に成立させること。  
一、農林漁業の振興による農山漁村の再生・活性化を図ること。

一、田園回帰の時代を拓き、都市と農山漁村の共生社会を実現すること。  
一、農林漁業者が将来に希望をもてるよう、米国とのTAG協議は毅然とした姿勢で臨むとともに、TPP・日欧EPA対策に万全を期すこと。

一、参議院の合区を早急に解消すること。  
一、道州制は導入しないこと。  
一、領土・外交問題・国民の安全保障に毅然とした姿勢で臨むこと。

一、参議院の合区の早期解消、道州制の導入反対  
一、地方分権改革の推進  
一、幼児教育無償化の財源確保・円滑な実施  
一、東日本大震災・熊本地震・豪雨災害等からの復旧・復興、全国的な防災・減災対策の強化

一、車体課税に係る地方税収の確保、ゴルフ場利用税の堅持  
一、地方交付税等の一般財源総額の確保  
一、農山漁村の再生・活性化、都市と農山漁村の共生社会の実現  
一、毅然としたTAG協議、万全なTPP・日欧EPA対策の実施

一、参議院の合区を早急に解消すること。  
一、道州制は導入しないこと。  
一、領土・外交問題・国民の安全保障に毅然とした姿勢で臨むこと。

一、参議院の合区を早急に解消すること。  
一、道州制は導入しないこと。  
一、領土・外交問題・国民の安全保障に毅然とした姿勢で臨むこと。

一、参議院の合区を早急に解消すること。  
一、道州制は導入しないこと。  
一、領土・外交問題・国民の安全保障に毅然とした姿勢で臨むこと。

## 決議（項目抜粋）

一、一億総活躍社会の実現に向け、地方創生の更なる推進を図ること。

# 北海道東北六県 町村会協議会

## 本県で会長会議を開催



北海道東北六県町村会協議会（会長・棚野北海道町村会長）は、十月十七日、十八日、本県を会場に北海道東北六県町村会会長会議（本県より関会長出席）を開催した。

まず、会議に先立ち、本年九月六日に発生した北海道胆振東部地震により、大規模な被害を受けた北海道町村会に対し、日頃から強い絆で連携した取り組みをしている東北各県の町村会から、見舞金が贈呈された。

会議は、大鰐町の鰐こま（ワニカム）において開催され、秋に開催する会議は、その時々々の情勢に応じたテーマを設定し、有識者を交えた意見交換などを通じて、協議会及び各道県町村会の活動に寄与することを目的に開催しているもので、今回は、本県観光連盟の高坂専務理事を講師に迎え、「外国人観光客の誘客対策の取り組みについて」講話いただいた。

東北地方では、東日本大震災の風評被害の影響などにより、全国的なインバウンド急増の効果を享受できていない状況にあり、また、北海道においてもこの度の地震の影響などにより、宿泊のキャンセルが多数に及ぶなど、観光需要の回復が喫緊の課題となっている中で、活発な意見交換となった。

翌日は、西目屋村の水陸両用バスの乗船と白神ビクターセンターの視察を行い、二日間の会議を終えた。

## 医師不足対策で意見交換

### 町村長と県健康福祉部の意見交換会



町村長から活発な意見交換がなされた

十二月二十五日、青森市のラ・プラス青い森で県健康福祉部の主催により、医師不足対策に関する町村長と県健康福祉部の意見交換会が開催された。県側から菊地健康福祉部長ほか関係職員、本会から関会長をはじめ、県内全三十町村長（代理含む）が出席した。意見交換会は、菊地部長か

らのあいさつの後、県健康福祉部から本県での医師不足の状況や、医師不足対策に関するこれまでの取り組み、今後の方向性などについて説明があった。

意見交換では、町村長から、医師だけでなく看護師等医療従事者の確保の重要性、中核病院での急性期医療の機能強化に対する地理的な面を考慮した支援、地域医療再編に關し、病院ごとの必要病床数は各病院の実情を考慮すること等の意見があった。

## 自治功労者の推薦等を決定

### 第4回理事会

本会は十月九日、青森市の県共同ビルで第四回理事会を開催した。出席者は関会長をはじめ役員町村長十一人。

理事会では、全国町村会表彰規程による自治功労者の推薦など三件の事項を協議した。協議事項は次のとおり。

### 協議事項

○全国町村会表彰規程による自治功労者の推薦について

自治功労者として二名を推薦する。

○青森県町村会表彰規程による被表彰者について自治功労者として百八十八名を被表彰者とする。

○県選出国會議員との懇談会並びに平成三十年度北東北三県町村長中央研修会及び北東北三県町村長中央交流会の開催について懇談会は十一月二十七日、研修会及び交流会



は十一月二十八日全国町村長大会終了後に開催する。



# 今後の政局のゆくえについて講演

## 市町村長等特別研修会を開催

本会は、十月九日、青森市のラ・プラス青い森で県市長会、県市町村振興協会との共催により、市町村長等特別研修会を開催した。出席者は町村長や市町村幹部職員等七十八人。

今後の政局のゆくえなどについて解説した。

研修会では、関会長の挨拶の後、ジャーナリストの長谷川幸洋氏が「政治・経済（これからの日本を展望する）」と題し、講演を行った。長谷川氏は、第四次安倍改造内閣の発足や自民党役員人事、また諸外国との関わりや



研修会には78名が出席

# 平成31年 町村長の任期満了日

平成30年12月20日現在  
(青森県選挙管理委員会HPより抜粋)

町村名	任期満了日
板柳町	4月29日 ※選挙期日：4月21日
五戸町	6月26日
野辺地町	10月26日
平内町	11月14日
藤崎町	11月19日

# 青森県町村長等名簿

平成30年12月27日現在  
町村数30町村(22町8村)

町村		区分	町村長氏名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町		船橋茂久	S24. 7. 17	2	31. 11. 14	山田光昭
	今別町		中嶋久彰	S30. 7. 18	1	33. 10. 12	
	外ヶ浜町		山崎結子	S56. 6. 21	1	33. 4. 23	宮本一男
	蓬田村		久慈修一	S25. 8. 1	2	33. 11. 8	工藤洋一
西郡	鱒ヶ沢町		平田衛	S34. 11. 1	1	33. 12. 26	加藤隆之
	深浦町		吉田満	S28. 9. 9	3	32. 12. 20	菊池雄司
中郡	西目屋村		関和典	S42. 2. 24	4	34. 2. 25	
南郡	藤崎町		平田博幸	S32. 6. 2	2	31. 11. 19	五十嵐晋
	大鰐町		山田年伸	S27. 3. 11	3	34. 7. 21	
	田舎館村		鈴木孝雄	S12. 2. 10	4	32. 11. 17	葛西幸男
北郡	板柳町		成田誠	S28. 3. 4	1	31. 4. 29	村上孝夫
	鶴田町		相川正光	S28. 10. 29	2	34. 8. 20	成田正利
	中泊町		濱舘豊光	S34. 10. 3	1	33. 4. 23	横野彰吾
上北郡	野辺地町		中谷純逸	S24. 8. 16	2	31. 10. 26	松山英樹
	七戸町		小又勉	S24. 1. 2	4	33. 4. 23	似鳥和彦
	六戸町		吉田豊	S25. 3. 28	7	32. 1. 27	保土澤正教
	横浜町		野坂充	S26. 1. 31	4	32. 12. 11	新渡喜広
	東北町		蛭名敏治	S34. 9. 23	1	33. 4. 23	向井正弘
	おいらせ町		成田隆	S26. 2. 4	2	34. 3. 25	小向仁生
下北郡	六ヶ所村		戸田衛	S22. 1. 28	2	34. 7. 6	橋本晋
	大間町		金澤満春	S25. 3. 9	4	33. 1. 18	菊池武利
	東通村		越善靖夫	S17. 1. 7	6	33. 4. 12	林春美
	風間浦村		富岡宏	S37. 4. 27	1	33. 2. 18	
三戸郡	佐井村		樋口秀視	S26. 4. 10	2	34. 4. 26	田名部二郎
	三戸町		松尾和彦	S38. 5. 9	1	32. 12. 15	馬場浩治
	五戸町		三浦正名	S29. 1. 1	5	31. 6. 26	大久保均
	田子町		山本晴美	S39. 4. 10	2	32. 1. 14	原昌徳
	南部町		工藤祐直	S30. 5. 22	6	34. 2. 11	佐々木俊昭
	階上町		浜谷豊美	S31. 8. 23	4	33. 12. 23	沼沢範雄
新郷村		櫻井雅洋	S27. 5. 25	1	33. 5. 28		

## 平成三十一年度法令外負担金を審査 負担金等委員会

本会は十月九日、青森市の県共同ビルで負担金等委員会を開催した。出席者は関会長をはじめ委員の町村長九人。

本委員会は、各町村の非常に厳しい財政状況の中、財政をさらに圧迫する法令外負担金等の負担内容を明確化し、町村行財政の安定と効率的運営を図るため開催するもの。

平成三十一年度の法令外負担金規制団体は四十五団体（対前年度比 増減なし）で、総額八千八百六十七万九千七百八十円の回答があり、審議の結果、平成三十一年度の負



45団体の次年度負担金を審査

担額は、各団体から回答があった負担額どおり決定した。

また委員会では、各法令外団体は新たな視点で目的や事業の抜本的な検討・協議が必要であるとの認識の下、各法令外団体に対し、次の事項を申し入れることとした。

1. 経費節減や予算における繰越金等を含めた団体運営のあり方について常日頃から見直しをし、町村負担金の減額に努めること。
2. 町村負担金は、本会の決定額を上限とし、事業費等の増額に連動し町村負担総額を増額しないこと。
3. 会員市町村数等の減少に伴い、均等割負担金を増額しないこと。また、賦課基準とする数値が減少した場合、現行の町村負担金を維持するため、賦課基準の単価を増額しないこと。
4. 他団体と統合した団体においては、統合に伴う事務運営の効率化により町村負担の軽減を図ること。

# 青森の魅力を実感

農林水産省では、将来幹部職員として農林水産行政を担当する入省後二年目の本省庁在勤職員等を、農林水産業の振興及び農山漁村の活性化に努力している農・漁村へ派遣し、農業や漁業を体験させることにより、農林水産行政担当者としての資質向上を図ることを目的として、農村研修を実施しています。

このたび平成三十年研修生、英大智氏、山下葉月氏、田中正道氏、南駿氏から、一カ月の研修を終え、感想を寄稿していただきました。

農林水産省  
水産庁漁港漁場整備部  
計画課 英 大智

八月二十七日から約一カ月間、青森県深浦町の株式会社オカムラ食品工業のサーモン中間養殖場と株式会社あおもり海山の加工センターでお世話になりました。

中間養殖場では、給餌作業、魚体測定や生殖体検査、海面養殖場へ輸送するための分槽作業を中心に行いました。加工センターではクロマグロとサーモンの加工を行いました。両企業は地域に根ざしており、社員の方々が深浦町に生まれ、頼も厚いのではないかと思います。

ます。これまで私は漁業の体験が全くなく不安でしたが、深浦町の皆様はとても親切に接して下さりました。今回経験したことを糧に、今後の業務に活かしていきたいと思えます。

最後になりましたが、本研修でお世話になった全ての方々はこの場をお借りして御礼申し上げます。

農林水産省  
経営局就農・女性課  
女性活躍推進室 山下 葉月

九月上旬から一カ月間、私は青森県鯉ヶ沢町で養豚・採卵業を営む長谷川自然牧場株式会社でお世話になりました。



中学生の体験牧場

長谷川自然牧場では自家製発酵飼料や野菜残などをエサに使い、「自然」のままにこだわった育て方で美味しい豚肉と卵を作っています。この

# 平成二十九年度の決算を認定

農林水産省  
農林水産技術会議事務局  
研究推進課 南 駿

農林水産省は、十月二十三日、青森市の県共同ビルで第二回組合議会定例会を開催した。出席者は関係者をはじめ議員等の市町村長九人。

定例会では、議案四件を審議し、それぞれ原案どおり承認した。

○議案第一号 平成二十九年度青森県市町村総合事務組合一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件  
歳入総額七億九千八十五万四千余円に対して歳出総額七億七千六百二十四万三千余円で、歳入歳出差引額一千四百六十一万余円。

○議案第二号 平成二十九年度青森県市町村総合事務組合市町村税等滞納整理特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件  
歳入総額九千六百四十六万七千余円に対して歳出総額八千四百七十三万余円で、歳入歳出差引額一千七百七十三万六千余円。

○議案第三号 平成三十年度組合一般会計補正予算（補正

第一号）案  
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ七百十七万七千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ八億七千六百六十五万千円とする。

○議案第四号 平成二十九年度組合市町村税等滞納整理特別会計予算（補正第一号）案  
歳入歳出予算の総額において、市町村税滞納整理負担金の収納実績を踏まえ、前年度繰越金を負担金に充てるものとする。



農林水産省は、六次産業化している農業経営体で、海外への輸出にも取り組んでいます。主力商品は、にんにく、長芋、ごぼうで、なかでも、にんにくを加工（熟成）した「黒にんにく」が看板商品です。今年の八月にはにんにく

のような育て方の根底にはご夫婦の「安心安全な豚肉・卵を届けたい」という強い思いがあり、その思いが体験牧場で子どもたちに「命をいただくこと」を伝える食育活動にも繋がっていました。命に通じる「食」を扱う農林水産省の職員として、今回の研修は仕事の根本を改めて認識させられる貴重な経験となりました。本研修でお世話になった皆様、本当にありがとうございます。心から感謝御礼申し上げます。

農林水産省

政策統括官付総務

経営安定対策参事官付

田中 正道

私は九月初めから一カ月間、おいらせ町の有限会社柏崎青果にて研修させていただきました。

柏崎青果は、六次産業化している農業経営体で、海外への輸出にも取り組んでいます。主力商品は、にんにく、長芋、ごぼうで、なかでも、にんにくを加工（熟成）した「黒にんにく」が看板商品です。今年の八月にはにんにく



受入先の(有)柏崎青果の柏崎進一氏と記念撮影

のGlobal GAPを取得しました。このように、柏崎青果はまさに農業のバイオニアであり、一カ月間の研修で多くのことを学ばせていただきました。本来ならば規格外等の理由で廃棄してしまうものに手を加え、新たな商品として生まれ変わらせ、経営の発展につなげていることは特に印象に残っています。

最後にりましたが、一カ月間、柏崎青果、そしておいらせ町には大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。

農林水産省

農林水産技術会議事務局

研究推進課 南 駿

私は、八月十六日から九月十四日の三十日間、青森県上北郡東北町にある「東北農事組合法人」様で研修をさせて頂きました。

東北農事組合法人は、主力である大根に加え、長芋、ごぼう、にんにく、昨年からはタマネギも手がけ、県内でもいち早く六次産業化に取り組みなど、常に新しいことに挑戦している法人でした。そこで私は、大根の収穫から出荷の作業に従事いたしました。これは、学生時代を含め本格的な農作業を経験したことがなかった私にとって、身をもって現場を知る貴重な時間であり、また、生産資材、外国人実習生などの農業経営が抱える喫緊の課題について見識を深める経験となりました。

今後は研修の経験・知見と、それを与えてくれた研修先の皆様との御縁を大切に、日本の農業をより良くしていきたいよう、業務に励んでまいります。



## 地域循環型の資源利用

# ホタテガイ残さを堆肥にした

## 玉ねぎ栽培

### 新たなよもぎたブランドを目指す！

ホタテガイ養殖が盛んな蓬田村。これまでホタテガイの残さ処理に課題を残していましたが、産学官連携の新たな試みて、ホタテガイ養殖残さを堆肥とした玉ねぎ栽培に着手しました。

#### 残さ堆肥化処理施設の建設

村では、ホタテ養殖を中心に漁業が営まれており、村の経済活動の中心となっていました。その分ホタテガイ残さの処理が大きな課題となっていました。これまでは、村外の焼却施設で残さ処理を行っていたため、労働時間の延長と処理費用が漁業経営の大きな負担となっていたことから、村内に「蓬田村ホタテガイ養殖残渣堆肥化処理施設」を建設しました。

残さ堆肥化処理施設は、国



残さ堆肥化処理施設

の産地水産強化支援事業施設整備支援事業により整備を進め、平成二十七年六月一日に稼働しました。本施設は、ホタテガイ残さと副資材の鶏ふ

#### 残さ堆肥で

#### 経済の活性化

本施設で製造された堆肥の原料は、すべて村の未利用の資源で賄われています。残さを利用した堆肥化は県内自治体では初めての試みで、他自治体も注目する施設となりました。村内に施設が建設されたことで、漁業者の労力や費用の大幅な軽減に加え、出来上がった堆肥は農家に無償配



ホタテガイ残さ堆肥を活用し、玉ねぎのブランド化を目指す



残さ堆肥化処理施設で良質な堆肥を製造



残さ堆肥の効果が一目瞭然（上が堆肥使用、下が不使用）  
※弘前大学の成果報告書より

布され土壤改良材として利用されるなど、地域循環型の処理方法の構築は、農漁業双方にメリットがあり、農業振興や地域経済の活性化も期待されています。

また、村内の農漁業者が結成したNPO法人「プロモーションよもぎた」では、海のミネラルを含み、葉もの野菜が育つホタテガイ残さ堆肥の良さを多くの人に知ってもらおうと、本施設で製造した堆肥の提供を受け、村民以外にも無償配布を行いました。家庭菜園をしている人などを中心に県内各地から二千人が訪れ、予定より約二ヶ月早く配布が終了となり、予想を上回る人気となりました。

### 玉ねぎ栽培で産学官連携

村ではホタテガイ残さ堆肥を活用した野菜栽培に取り組みむこととし、村の冷涼な気象条件が好ましいこと、年間を通して需要があり、水田ほ場との相性がよく露地野菜では高収益であるという理由から

玉ねぎを選定。平成二十八年度に蓬田たまねぎ生産組合・弘前大学・蓬田村の産学官三団体が連携し、玉ねぎの試験栽培を行いました。

弘前大学の報告によるとホタテガイ残さ堆肥を使用した効果は明確に表れ、茎葉の生育の違いが遠くからでもはっきりと判別できるほどで、品質や収量でも効果が見られました。さらに地力アップや土壌改善などが見られたことから、残さ堆肥を玉ねぎ栽培に積極的に使用することが望まれるという結果になりました。

### 新たな試みでの成果

試験栽培を始めた平成二十八年度は、生産者三名でたまねぎ生産組合を発足し、休耕田百二十アールに玉ねぎの作付を行いました。総収量は約十六トンとなり県内の小売店に出荷しました。平成二十九年年度には、生産者が八名、作付面積も百八アール増加の三百アールとなり、総収量は約五十トンに上りました。平成三十年度の収穫では生産者が十一人、作付面積二百四十

二アール、収量は三十一トンとなる見込みです。平成三十一年産からは、生産者もさらに増える予定で、春植え以外にも秋植え栽培にも取り組み、新たな水田転作作物として生産拡大に向けた計画をしています。

### 今後の展開

玉ねぎは加工、業務用としても用途が広く、トマトなど他品目の野菜や鶏など畜産品、さらには魚介類との相性が良いことから、消費量が増加すると考えられます。そのため、安定した収量と品質の確保に向けた事業を展開するとともに、村の特産品であるトマトに次ぐ村の新たなブランド化を目指しています。さらには高収益な生産構造を創るとともに、ホタテガイ残さ堆肥に合う作物を選定し、今後も農家の経営安定化につながる施策を展開していくこととしています。

※ホタテガイ残さ堆肥に関するお問い合わせは蓬田村役場産業振興課【0174-271211】までお願いします。



問い合わせ先 道の駅いまべつ半島ぶらざアスクル  
TEL 0174-31-5200

道の駅いまべつ半島ぶらざアスクルでは、期間限定（3月31日まで）で鍋メニューが提供されています。

しょうゆだれで味付けされ、町の特産品いまべつ牛と新鮮野菜を使用した絶品の一品「奥津軽べこ鍋定食」（写真）と、噛めば噛むほどいのしし肉の旨みが口の中に広がる「ぼたん鍋定食」です。締めに入れるもずくうどんは、もちもち食感がやみつきになります。

冷えた体を温めてくれる鍋料理。冬の季節にぜひ一度ご賞味ください。

寒い日はやっぱり鍋料理！

いまが旬!

いまべつまち

今別町

東津軽郡



問い合わせ先 一般社団法人 深浦町観光協会  
TEL 0173-74-3320

真冬の日本海で水揚げされた鮮度抜群の食材の数々と地酒を堪能できるイベント。特産品や旅館・ホテルの無料宿泊券が当たるお楽しみ抽選会や趣向を凝らしたアトラクションもご期待下さい。

開催日・料金は各宿泊施設により異なりますので、詳しくは深浦町観光協会へお問い合わせ下さい。

第25回グルメinふかうら

いまが旬!

ふかうらまち

深浦町

西津軽郡



問い合わせ先 田舎館村役場 企画観光課  
TEL 0172-58-2111

雪原をスノーシューで踏み固めて描くスノーアート。第一人者の英国人サイモン・バックさんから技術継承を受けた地元グループ「スノーアーティスト集団It's OK.」が制作します。好評の夜間ライトアップや、冬を楽しむ体験コンテンツも実施します。

○日時：2月8日（金）～11日（月・祝）

○場所：道の駅いなかだて「弥生の里」

冬の田んぼアート

いまが旬!

いなかだてむら

田舎館村

南津軽郡



問い合わせ先 一般社団法人 六ヶ所村観光協会  
TEL 0175-71-3115

村の農畜産物や加工品などの特産品販売所“六ヶ所館（ろくしゅんかん）”が開館しました。新鮮な農海産物や加工品などを中心とした特産品販売コーナーや手打ちそばの見学、地元の特産品を使用した料理を堪能できる軽食コーナー、赤ちゃんやお子様を連れたご家族にうれしい多目的休憩所やキッズ・授乳コーナーが完備されています。皆さんお誘い合わせの上、ぜひご来館ください。

○営業時間：9：00～18：00

（季節により時間を変更する場合あり）

○休館日：12月31日、1月1日

（臨時休業日を設ける場合あり）

六ヶ所村特産品販売所  
“六ヶ所館”

いまが旬!

ろくしよむら

六ヶ所村

上北郡

いまが旬!

# 大間町

おおままち

下北郡

ご存知ですか?

本州四端ラリー

本州四端（よんたん）とは、本州の四方位の最端の地である岩手県宮古市鮭ヶ崎（とどがさき）、山口県下関市毘沙ノ鼻（びしゃのはな）、和歌山県串本町潮岬（しものみさき）、青森県大間町大間崎（おおまざき）のことです。すべてを訪れた方に、本州四端踏破証明書を交付し、記念品を贈呈しています。

ご家族、お友達とご一緒に本州四端踏破にチャレンジしてみませんか？



問い合わせ先 大間町役場 企画経営課  
TEL 0175-37-2504

いまが旬!

# 階上町

はしかみちよう

三戸郡

はしかみハマの駅あるでい〜ば  
「ハマ」の魅力あふれる施設

昨年5月にオープンした、はしかみハマの駅あるでい〜ば。地元漁業者が仕入れた新鮮な魚介が安く手に入ると話題！レストラン「Mar」では、太平洋を眺めながら、新鮮な魚介や旬の食材を用いた料理をお楽しみいただけます。「ハマ」の魅力あふれるこの施設、皆様のご来店をお待ちしております。

- 所在地：階上町大字道仏字大蛇203-208
- 営業時間
  - 【通常】 9時～18時
  - （レストラン 11時～17時 L.O 16時30分）
  - 【冬季】（12月1日～3月31日）10時～17時
  - （レストラン 11時～16時 L.O 15時30分）
- 定休日：毎週月曜日、12月31日～1月4日



問い合わせ先 はしかみハマの駅あるでい〜ば  
TEL 0178-37-3166

いまが旬!

# 新郷村

しんきょうむら

三戸郡

しんごうホワイトイルミネーション  
ネーション点灯中!

新郷村の冬の代名詞とも言える「しんごうホワイトイルミネーション」が今年も開催されています。金ヶ沢農村公園一帯としんごう保育園前のエンジェルロードには、数万個の色とりどりのLED電球が灯され、村の夜を鮮やかに彩っています。静寂のなか光の共演が織りなす幻想的な世界をお楽しみください！

点灯期間：1月27日（日）まで  
点灯時間：日没～22時まで



問い合わせ先 新郷むらづくり実行委員会  
（新郷村役場 企画グループ内）  
TEL 0178-78-2111

## ●お知らせとお願い

「あおり町村自治」は、会務活動状況及び災害共済諸事業の啓発事項、区市町村総合事務組合及び内部団体の活動状況のほか、町村長の紹介及び各町村の特集記事等を掲載し、3カ月に1回季刊発行しています。

本ページの「町村トピックス いまが旬！」は、各町村の時期、季節の旬の情報をPRするコーナーで、イベント、観光スポット、施設、特産品、町の話・出来事などが満載！

各町村で、本紙への掲載希望事項等がありましたらご連絡ください。また、表紙写真や関連記事等掲載依頼の際は、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 法律相談費用に対する 助成事業をぜひご活用ください

本会では、県内の町村が行政上の諸問題解決のため弁護士へ相談した場合の費用を助成しておりますので、積極的なご活用をお願いします。

- 助成金額：法律相談料として町村が支出した実費額で、助成回数及び助成金額に制限はありません。
- 申請方法：別に定める法律相談費用助成金交付申請書及び関係書類を本会へ提出願います。
- 問合せ先：詳しくは本会総務課（電話：017-723-1331）までお問い合わせ下さい。

## 「梅沢富美男の あおもりまち・ むら情報局」

本会では、県内三十町村の情報を首都圏へ発信するテレビ番組「梅沢富美男のあおもりまち・むら情報局」を企画し、TOKYO MXで平成三十年三月から五回にわたって放送しました。梅沢富美男氏が総合プロデューサー兼PR局長として出演し、特産品やイベント、ご当地グルメなど各町村いち押しのでいっぴな

本会HPに  
動画を掲載中



魅力を紹介しています。放送された番組は、本会ホームページで視聴できますので、ぜひご覧下さい！  
http://www.aomori-chousonkaip.jp/

### ●共済契約できる自動車

1. あなたの所有する
2. あなたと同一世帯に属する親族（同居の親族）の所有する

- 自家用普通・小型乗用自動車
- 自家用軽四輪自動車
- 自動二輪車●原動機付自転車

### ●共済掛金と共済金額

共済金額	用途及び車種 区分	共済掛金額（年間）			
		自家用普通・小型乗用 小型貨物車(660cc超)	自家用軽四輪乗用 貨物車(660cc以下)	自動二輪車 (125cc超)	原動機付自転車 (125cc以下)
A型	対人賠償 無制限 対物賠償 1,000万円 自損事故 1,500万円 限定搭乗者 500万円	30,000円	19,000円	17,000円	12,000円
B型	対人賠償 無制限 対物賠償 無制限 自損事故 1,500万円 限定搭乗者 1,000万円	33,000円	21,000円	20,000円	14,000円

※無共済等自動車傷害共済・他者運転特約も自動付帯。 ※自賠責保険と共済金の一括払も実施しています。

### 町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

町村生協の自動車共済にご加入の方のみ、車両共済（保険）に加入できます

○町村生協の自動車共済で過去3年間無事故で、新たに車両共済（保険）

に加入する場合、新規契約と比較して

**43%割引（9等級）からスタート！**

○一括払いでご契約の場合は、さらに **5%割引！**

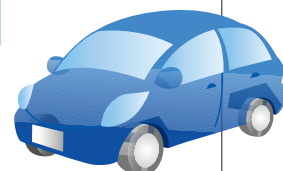
○保険料分割払（12回）も選択可能です。

○ロードサービスが自動付帯

いつでもご加入いただけますので下記までお問い合わせ願います。

問合せ先 全国町村職員生活協同組合青森県支部

青森県町村会業務共済課〔共済事業〕 TEL 017 (723) 1331



# 自動車共済

万一の事故に備えを！

九月二十九日のオープニングセレモニーでは、関会長及び貝守青森県東京事務所長のあいさつの後、来賓と主催者によるテープカットが行われ



関会長（左から3人目）ら関係者がテープカット

本会は、九月二十九日から十二月十六日までの七十九日間、東京・神楽坂の「北のプレミアムフード館」において、本県三十町村の魅力と情報を発信する「青森まち・むらまをのつとーうまいものフェア」を開催しました。



特産品がずらりと並んだ店内

ました。また、フェア期間中は、市川竹瑛氏による津軽三味線演奏やネブタばやしライブ演奏、エリアごとのセールや福引き大会を開催しフェアを盛り上げました。

各町村イチ押しの特産品がずらりと並んだ店内では、黒ニンニクやみょうがピクルス、ブルーベリージュースや日本酒などの試食・試飲も行われ、大勢の買い物客でにぎわいました。



町村選りすぐりの物産を販売  
“青森まち・むらまをのつとーうまいものフェア”

東京・神楽坂で開催

## 安い掛金で大きな補償を

### ●共済契約できる物件

- あなたの所有する居住用建物、または、その建物内にある動産
- あなたと同一世帯に属する親族が所有し、かつ、あなたが現に同居している建物または、その建物内にある動産

### ●共済掛金と共済金額

共済掛金（年額）は共済契約1口（10万円）につき60円です。  
契約額の最高限度は、600口・6,000万円が限度です。

共 済 契 約 の 最 高 限 度			
区 分	口 数	共済金額	共済掛金
建物のみの場合	400口	4,000万円	24,000円
動産のみの場合	200口	2,000万円	12,000円
建物と動産を併せた場合	600口	6,000万円	36,000円

### 風水雪害特約制度

風水雪害特約制度は、風水雪害による損害について、火災共済契約に任意に付加することにより共済金を支払う特約制度です。特約を付加していない場合、風災、水災又は雪災による損害は、損害額が50万円以上の場合、損害の程度に応じ給付され、全損の場合では100分の10又は450万円のいずれか低い額の給付ですが、特約に加入することにより、火災共済契約の風水雪害共済金に加算して風水雪害特約共済金を損害額の50%又は火災共済契約額の50%のいずれか少ない額を限度に支払います。（ただし、風水雪害共済金と特約共済金の支払合計額が3,000万円を超える場合、3,000万円が限度となります。）特約共済掛金は、一口10万円につき50円です。（火災共済契約と同額を特約共済金額とします。）



確かな安心を！

# 住宅火災共済



風間浦村長

とみ おか  
**富岡**

プロフィール

村教育委員会事務局副参事。  
現在1期目、56歳。

ひろし  
**宏**



**随想**

第40話

# 冬の下風呂温泉と

## 風間浦鮫鱈 あんこう

新年明けましておめでとう  
ございます。

本州最北の村「風間浦村」は、下北半島の北西部に位置し、東部と南部はむつ市大畑町に隣接、西部は大間町、北部は津軽海峡に面する、自然豊かな海と山に囲まれた漁業と観光を主な産業とする小さな村です。

明治二十二年に、下風呂村・易国間村・蛇浦村の三村が合併し風間浦村が誕生しました。その後、昭和・平成の合併もなく、来年度には村制施行百三十周年を迎えます。

昭和三十年代前半に五千人ほどあった人口は、平成三十年には、二千人を切る状況となり、人口減少・少子高齢化の進行が著しい状況となっています。

私は、昭和五十六年、地元の高校を卒業後風間浦村に採用となり、平成二十九年一月まで、三十六年間職員として地方自治に携わってきました。この間様々な部門を経験させていただきましたが、通算二十年余りは財政担当として村の台所を預かってきまし

た。財政担当時代は、地方交付税が大幅な増となったバブル期もありましたが、そのほとんどが三位一体改革や平成の合併推進による地方交付税の大幅な減等、厳しい財政状況の連続でした。特に村の未来を大きく左右する、むつ市を中心とした大合併からの離脱、大間町・佐井村との合併協議等を経て、当村は住民投票によって村単独の道を選択することになり、財政担当として貴重な経験をさせて頂きました。

そして、前村長の急逝により、平成二十九年二月に第十四代風間浦村長に就任させて頂きました。

風間浦村の基幹産業である漁業は、十数年前から磯焼け現象等により昆布をはじめ海藻類の繁茂がきびしく、それに伴いアワビ・ウニの生育環境が悪化し、ウニの実入りが悪く、根付漁業による水揚げは大きく減少し、さらに主力魚種のスルメイカがここ数年極端な不漁となっており、漁家収入は大きく減少しています。村では、水産多面的機能

發揮対策事業を活用し、数年前から磯焼け現象の原因のひとつであるウニの適正管理を実施していますが、その効果は一朝一夕に現れるものではありません。そこで、平成三十年度からは、山村活性化支援交付金を活用し、餌となる昆布の養殖とウニの畜養（かご養殖）試験を実施しています。これにより、ウニの通年生産を確立し漁家収入の安定を図ることにしています。さらに、平成二十九年からは、観光ウニ園を開設し、体験型観光による誘客を図っています。

磯焼け現象の原因のひとつとされるウニを活用することにより、海藻類をはじめとする磯資源の復活・ウニの畜養による漁家収入の安定・観光ウニ園による観光客の誘致と一石三鳥を企てる欲張りな計画です。

もうひとつの基幹産業である観光は、大震災以降下風呂温泉の宿泊客が急激に落ち込み休業や廃業となった旅館もありましたが、ここ数年は徐々にではありますが、回復傾向が見うけられています。村では、温泉街全体の活性化を目指し、老朽

化が著しい二つの大衆浴場を統合し、新浴舎の整備を進めており、東京オリンピックの開会式に合わせた二〇二〇年の開業を目指しています。県内有数の水揚げを誇る風間浦鮫鱈は、今がまさに旬です。鮫鱈は捨てる場所は骨だけといわれる食材ですが、そのほとんどが生きたまま水揚げされる新鮮な風間浦鮫鱈は、お刺身も美味です。冬の下風呂温泉と風間浦鮫鱈をお楽しみいただければと思います。たくさんのお越しをお待ちしております。



風間浦鮫鱈フルコース膳



風間浦鮫鱈